

北海道医歌人会詠草

湖（みずうみ）

次々と悪を企らむ黒鼠そを憎伏さす白鼠出でよ

交通事故罰重ければ数減るは狡き悪人如何に多きや

道歩く人の目を惹く青き葉も洗礼受くや変る黄色に

外国の面積広き湖も砂漠化進み縮む1／10に

温暖化進み小国消え火事頻り英知を集めCO₂を減らせよ

札幌 山口 康徳

強 運

こつくりさんと云へる怪しき占ひに隊長も兵も夜々凝りたりき

救援機一千台も来るといふ怪しきお告げにただに頼りき

ひらひらとジャングルに撒かれゆく敵のピラ信ずれば一週間の命なるべし

ジャングルの腐木にへたへたと腰おろし父母妻の写真に終戦告げぬ

十数回のマラリア三度の大手術耐へたへてつひに卒寿となりぬ

札幌 小国 孝徳

大原来迎院

三千院過ぎて奥なる来迎院五十年ぶり再訪と記名簿に書く

永享に成れる梵鐘撞くことを許し給ひし老師在らざり

にこやかに立ちし老師を継ぐ孫の住持が庫裏へいざなひ給ふ

襖絵の飛天の仏陀屏風画の山水百年静謐のなか

千載を刻む古刹の簷に佇つ八十叟われひとひらの塵

札幌 古屋 統

恵迪百年

若き日の魂の故郷恵迪寮今日百年の歴史を祝ふ

革まりし「都ぞ彌生」の碑の前に若きと肩組み老いは歌へり

絢爛の三春秋の夢甦へる恵迪百年迎へし我は

恵迪の三年過ごせし若き日を「都ぞ彌生」に思ひを込めて

歌声は原始の森に響きたり我が青春の思ひを乗せて

美唄 吉村 誠治